

2022年7月6日

フォーミュラ E 世界選手権シーズン 8 第 10 戦 マラケシュ・グランプリ
ミッチ・エバンスが 3 位で今シーズン 5 度目の表彰台
サム・バードも 9 位入賞し、ジャガー-TCS レーシングはダブルポイント獲得



- モロッコ・マラケシュで開催された ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権シーズン 8 の第 10 戦に出場
- ミッチ・エバンスが 3 位となり、今シーズン 5 度目の表彰台を獲得
- サム・バードはスタートから 4 つポジションを上げてポイント圏内の 9 位でフィニッシュ
- ドライバーズ・ランキングでミッチ・エバンスは 4 位をキープし、首位との差を 15 ポイントに縮める。サム・バードは 12 位
- ジャガー-TCS レーシングは 156 ポイントを獲得し、チーム・ランキングで 4 位をキープ
- 第 11 戦、第 12 戦は 2022 年 7 月 16 日、17 日(現地時間)にニューヨーク市ブルックリンの市街地にて開幕

2022 年 7 月 2 日 モロッコ マラケシュ発 : ジャガー-TCS レーシングは、マラケシュで開催された ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 シーズン 8 の第 10 戦に出走し、ミッチ・エバンスが 3 位となり今シーズン 5 度目となる表彰台を獲得しました。サム・バードもポイント圏内の 9 位に入り、チームとしてはダブルポイントを獲得して 4 位をキープし、シーズン優勝を狙う位置につけています。

灼熱の太陽が降り注ぐ砂漠で行われたクオリファイ・セッションのデュエルで、ミッチ・エバンスはクウォーターファイナルまで勝ち進み、6 番グリッドからの出走となります。決勝レース序盤から、パスカル・ウェーレン(タグ・ホイヤー・ポルシェ・フォーミュラ E チーム)をオーバーテイクして 5 位に浮上し、さらにその後も 4 位までポジションを上げます。チームはレース中、エネルギーとバッテリーの

JAGUAR

tcs

RACING

温度を慎重に管理し、表彰台獲得を確実なものにしていきました。最終ラップでは、チームの戦略が功を奏し、ミッチ・エバンスがジャン・エリック・ベルニュ(DS テチャータ)に競り勝ち、最終的に 3 位でフィニッシュし、貴重な 15 ポイントと表彰台を獲得しました。

サム・バードはクオリファイ・セッションのデュエルで惜しくも敗退し、13 番グリッドからスタートしましたが、我慢強い走り続けて 9 位までポジションを上げ、自身とチームに貴重なポイントをもたらしました。

第 10 戦を終え、ドライバーズ・ランキングでは、ミッチ・エバンスが首位のエドアルド・モルタラ(ロキット・ベンチュリ・レーシング)と 15 ポイント差の 4 位をキープし、サム・バードは 12 位につけています。チーム・ランキングでは、今シーズン残り 6 レースという状況で、ジャガー-TCS レーシングは現在 4 位につけています。

2022 年 7 月 16 日、17 日にニューヨーク市のブルックリンの市街地で開催される ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権第シーズン 8 第 11 戦、第 12 戦に挑みます。

ジャガー-TCS レーシングのチーム・プリンシパルであるジェームズ・パークレーのコメント:

「マラケシュで再び、激しくエキサイティングなレースが繰り広げられました。気温が非常に高かったので、エネルギーと温度管理の戦略に集中して、バッテリーとマシン全体のパフォーマンスを最適化する必要がありました。ミッチとチームによる素晴らしい走りにより、3 位でフィニッシュすることができました。チャンピオンシップを勝ち取るためには、表彰台を獲得することは常に重要なことです。サムも我慢強く成熟した走りをして、チームにとって貴重なダブルポイント獲得に貢献してくれました。2 週間後にブルックリンで開催されるレースに戻るのが楽しみです。」

ドライバー、ミッチ・エバンスのコメント:

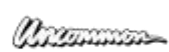
「バッテリー、温度、エネルギー、すべての面において注意を払う必要のあるタフなレースでした。スタートで少し出遅れてしまいましたが、すぐに挽回できました。チームは今日も私をうまく導いてくれました。レース終盤でペースを落としたジャン・エリック・ベルニュを、最終ラップで追い越し、表彰台に手が届きました。厳しいレースではありましたが、表彰台、多くのポイント、そしてトロフィーを獲得することができました。」

ドライバー、サム・バードのコメント:

「マラケシュ・グランプリでの 9 位は目指していたポジションではありませんが、ベストを尽くしました。レースでのペースは良かったものの、クオリファイ・セッションで 13 位となると、これ以上の結果を出すことは難しかったです。素晴らしいチームと共に、昨年優勝することができたニューヨークでのレースでさらに上を目指すために何ができるかを考え、邁進し続けていきます。」

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2022 年 7 月 2 日(現地時間)に発表したプレスリリースの抄訳です。

以上



JAGUAR



エディターズ・ノート

ジャガーTCSレーシングについて

ジャガーは2016年10月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権のシーズン7では、チーム・ランキングで2位を獲得し、これはジャガーのフォーミュラ E 史上過去最高の成功となりました。

フォーミュラ E は、2025年からピュア EV のラグジュアリー・ブランドとなることを目指すジャガーの現実世界におけるテストベッドです。ジャガーTCSレーシングは、ジャガー・ランドローバーの「REIMAGINE」戦略をサポートするため、新しいサステナブル(持続可能)なテクノロジーを提供し、品質における新しい基準を作り出します。

ジャガーTCSレーシングの目標は、「Reimagine Racing(レースの再構築)」であり、テスト、開発、学習、協力、共有を行い、ジャガー・ランドローバー全体へ知見を共有することで、将来の市販車開発に役立てることで。特に、フォーミュラ E で培った知見と技術の移転は、ジャガー・ブランドの再構築に役立ち、フォーミュラ E Gen3 時代へのコミットメントと合致します。

フォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、ジャガーTCSレーシングは、モーター、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。

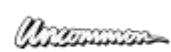
コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的で軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバーのフルバッテリー電気自動車(BEV)のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

フォーミュラ E の 2021/22 年シーズンは、国際自動車連盟(FIA)主催の世界選手権ステータスとなって迎える2回目のシーズンとなり、各チームにとって、「Generation 2」のレースマシンを使用する4度目の、そして最後の年となります。

各チームは、ドライバー1人につき1台、計2台のレースカーを用意し、45分間プラス1ラップのレースを戦います。

フォーミュラ E は、フルバッテリー電気自動車(BEV)によるレースというコンセプトに加え、モータースポーツの世界においては開催地の選定もユニークです。選手権は世界的大都市を舞台に、特設の公道サーキットで開催され、今シーズンは、ディルイーヤ、メキシコシティ、ローマ、モナコ、ニューヨーク、ロンドンなどを転戦した後、ソウルで週末に行われるダブルヘッダーレースで最終戦を迎える予定です。

ニュージーランド出身のミッチ・エバンスは、8回の表彰台、2回の優勝、1回のポールポジション、そして177ポイントを獲得し、ドライバーズ・ランキング4位、チーム・ランキング2位でシーズン7を終え、過去最高の成功を収めました。イギリス出身のサム・バードは、チームに加入してから参戦した最初のシーズンであり、2回の優勝、3回の表彰台、1回のポールポジションを獲得し、ドライバーズ・ランキング6位という結果を残しました。



JAGUAR

tcs

RACING

Race to Innovate

フォーミュラ E 世界選手権への参戦は引き続き、ジャガー・ランドローバーのグローバル戦略「REIMAGINE」の実現に向けた最重要事項です。電気自動車による唯一のチャンピオンシップであるフォーミュラ E 世界選手権を通して、ジャガーはハイパフォーマンスが求められる環境で新たな電気自動車テクノロジーをテストし、開発しています。レースは、「Race to Innovate(イノベーションのためのレーシング)」をブランドミッションに掲げるジャガーにとってテストベッドであり続け、電動化の未来を形作るために、レースで得た知識や経験を市販車へ(Race to Road)、そして市販車からレースへ(Road to Race)と相互に役立てることができます。それこそがジャガーが情熱を傾けて目指している未来であり、社会貢献、モビリティの変容、持続可能性、そしてお客様のためにその実現に懸命に取り組んでいます。

Jaguar PR social channels:

- Jaguar ウェブサイト: <http://www.jaguar.co.jp>
- Facebook: <https://www.facebook.com/JaguarJapan>
- Twitter: <https://twitter.com/JaguarJPN>, @JaguarJPN
- Instagram: <http://www.instagram.com/jaguarjapan>
- YouTube: <https://www.youtube.com/jaguarchanneljp>

◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール(フリーダイヤル)0120-050-689(9:00~18:00、土日祝日を除く)

